【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成16年9月30日(2004.9.30)

【公開番号】特開2002-191721(P2002-191721A)
【公開日】平成14年7月10日(2002.7.10)
【出願番号】特願2001-381788(P2001-381788)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６３Ｂ　37/00
　Ａ６３Ｂ　37/04
　Ａ６３Ｂ　37/12
【ＦＩ】
　Ａ６３Ｂ　37/00　　Ｌ
　Ａ６３Ｂ　37/00　　Ｃ
　Ａ６３Ｂ　37/04
　Ａ６３Ｂ　37/12

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月12日(2003.9.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ソリッドコアと中間層とカバーとの３層構造からなるスリーピースソリッドゴルフボールにおいて、上記ソリッドコアの１００ｋｇ荷重負荷時の変形量が２．５ｍｍ以上であり、カバーが熱可塑性ポリウレタンエラストマーを主材としてショアＤ硬度３５～５５に形成されたものであり、かつこれら３層からなるボール全体の慣性モーメントが８３ｇｃｍ^{2}以上であることを特徴とするスリーピースソリッドゴルフボール。
【請求項２】
中間層のショアＤ硬度が６０～７０である請求項１に記載のスリーピースソリッドゴルフボール。
【請求項３】
慣性モーメントが８４～８５．３ｇｃｍ^{2}である請求項１又は２記載のスリーピースソリッドゴルフボール。
【請求項４】
ソリッドコアと中間層とカバーとの３層構造からなるスリーピースソリッドゴルフボールにおいて、上記ソリッドコアの１００ｋｇ荷重負荷時の変形量が２．５～４．６０ｍｍであり、中間層のショアＤ硬度が６０～７０であり、カバーが熱可塑性ポリウレタンエラストマーを主材として形成され、そのショアＤ硬度が３５～５５であると共に、上記中間層のショアＤ硬度が上記カバーのショアＤ硬度よりも１３～４０度高く、かつこれら３層からなるボール全体の慣性モーメントが８３～８５．５ｇｃｍ^{2}であることを特徴とするスリーピースソリッドゴルフボール。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１５】
従って、本発明は、ソリッドコアと中間層とカバーとの３層構造からなるスリーピースソリッドゴルフボールにおいて、上記ソリッドコアの１００ｋｇ荷重負荷時の変形量が２．５ｍｍ以上であり、カバーが熱可塑性ポリウレタンエラストマーを主材としてショアＤ硬度３５～５５に形成されたものであり、かつこれら３層からなるボール全体の慣性モーメントが８３ｇｃｍ^{2}以上であることを特徴とするスリーピースソリッドゴルフボールを提供する。
また、本発明は、より好適な態様としてソリッドコアと中間層とカバーとの３層構造からなるスリーピースソリッドゴルフボールにおいて、上記ソリッドコアの１００ｋｇ荷重負荷時の変形量が２．５～４．６０ｍｍであり、中間層のショアＤ硬度が６０～７０であり、カバーが熱可塑性ポリウレタンエラストマーを主材として形成され、そのショアＤ硬度が３５～５５であると共に、上記中間層のショアＤ硬度が上記カバーのショアＤ硬度よりも１３～４０度高く、かつこれら３層からなるボール全体の慣性モーメントが８３～８５．５ｇｃｍ^{2}であることを特徴とするスリーピースソリッドゴルフボールを提供する。